

## Y10b 3 サロス周期、同一地域-同様中心食説の検証

竹下幸一(東農大生物産業)、井上圭典

長期間の日食計算結果を公表したもので有名なものに、Oppolzer,1887年(BC1207-AD2161)、J.Meeus,C.C.Grosjran,W.Vandrielen,1966年(AD1898-2510)などがあり、最近ではF.Espenak(NASA)がWebサイト上で、BC2000-AD4000の日食要素を発表している。いずれも、サロス周期を軸としてその系列番号を付加している。

サロス周期とは呼んでいるが、厳密な意味の周期ではなく、敢えて言えば準周期であり、1200年から1500年位の寿命しかない。しかし、サロス周期系列は消えても、新しい系列が生まれるので、日食現象がなくなるということではない。

ある地域で中心食が見えたとすると3サロス周期後には、同一規模の中心食をそこで再び見ることができるといふ解説書があったり、同一経度上に中心食が再び通るだけという説、見える地域は少し緯度が上下するという説等の諸説がある。その正否は、同一サロス周期系列の中心食線を描いてみれば決着がつく筈である。それを約100個のサロス系列について、日食の中心線を描いて検証した。そしてそれらの諸説の「出所」を明らかにした。